

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備事業） 事後評価書

平成30年8月 日

計画の名称	29 新東名遠州森町スマートICを活かした活力あるまちづくり計画																													
計画の期間	平成24年度～平成26年度（3年間）			交付団体	森町																									
計画の目標	新東名供用に伴い、遠州森町PAにスマートICを設置するほか、新東名の利用促進を図るとともに、開通後の町内の円滑な交通網の確保のため整備計画の策定や周辺道路の整備などを行う。これにより、通勤時や救急における時間短縮など利用客の利便性及び安全性を図るとともに、町外からの入り込み客の増加を図ることを目的とする。																													
計画の成果目標（アウトカム指標）	<ul style="list-style-type: none"> 森町から浜松市方面への通勤時間帯を短縮する。 森町から第3次医療機関である浜松市聖隷三方原病院までのアクセスを40分圏内とする。 森町への観光入り込み客数を97万人から100万人とする。 																													
アウトカム指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">アウトカム指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園田地区から浜松市内(浜松浜北IC) までの交通アクセス時間を短縮する</td> <td>34 分</td> <td>—</td> <td>28 分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一宮地区からの第3次医療施設までの交通アクセス時間を短縮する</td> <td>47 分</td> <td>—</td> <td>40 分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>森町への観光入り込み客数を増加する</td> <td>97 万人 (H13～22平均)</td> <td>—</td> <td>100 万人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								アウトカム指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値	最終目標値 (H26末)	園田地区から浜松市内(浜松浜北IC) までの交通アクセス時間を短縮する	34 分	—	28 分		一宮地区からの第3次医療施設までの交通アクセス時間を短縮する	47 分	—	40 分		森町への観光入り込み客数を増加する	97 万人 (H13～22平均)	—	100 万人	
	アウトカム指標の現況値及び目標値			備考																										
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値	最終目標値 (H26末)																											
園田地区から浜松市内(浜松浜北IC) までの交通アクセス時間を短縮する	34 分	—	28 分																											
一宮地区からの第3次医療施設までの交通アクセス時間を短縮する	47 分	—	40 分																											
森町への観光入り込み客数を増加する	97 万人 (H13～22平均)	—	100 万人																											
全体事業費	合計 (A+B+C)	471 百万円	A	441 百万円	B	0 百万円	C	30 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.4%																				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期	平成27年度
事後評価の実施体制	公表の方法	森町のホームページに掲載する。

学識経験者等により構成された評価を実施する組織(新東名遠州森町スマートIC地区協議会)による評価委員会を開催し、これによりとりまとめた原案をもとに市民への公表を行う。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 地方道路整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26			
29-A1	道路	一般	森町	直接		町道	改築 (他)町道遠州森町PA上り線	道路改良 L=0.2km	森町					79	
29-A2	道路	一般	森町	直接		町道	改築 (他)町道遠州森町PA下り線	道路改良 L=0.2km	森町					74	
29-A3	道路	一般	森町	直接		町道	改築 (他)町道橋円田線	交差点改良 n=3箇所	森町					121	
29-A4	道路	一般	森町	直接		町道	改築 (他)町道橋円田線	舗装工事	森町					57	
29-A5	道路	一般	森町	直接		町道	交安 (他)町道橋円田線 外7路線	道路案内標識 n=25箇所	森町					30	
29-A7	道路	一般	森町	直接		町道	改築 (他)町道久保ノ谷松ヶ谷線	交差点改良 1箇所 舗装工事	森町					80	
合計													441		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26			
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26			
29-C1	利用促進	一般	森町	直接		利用促進	ソフト施策事業	パンフレット作成・渋滞対策	森町					15	
29-C2	計画・調査	一般	森町	直接		計画	橋梁長寿命化修繕計画	調査・点検・計画策定	森町					10	
29-C3	計画・調査	一般	森町	直接		調査	整備効果分析調査	整備効果分析調査	森町					5	
合計													30		

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
29-C1	道路事業(29-A1～29-A5, 29-A7)と一体的に利用促進施策を実施し、周知することで、利用効果を拡大させるとともに、一宮周辺地域の渋滞対策の検討を行うことにより、スマートICの利用促進を図る。										
29-C2	橋梁の長寿命化計画を策定することにより、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架け替えに係る費用の削減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。										
29-C3	本計画による事業が効果的に行われたか整備効果の分析を行う。										

その他関連する事業

計画等の名称												全体事業費 (百万円)	備考	
事業種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				
A										H24	H25	H26		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・町道遠州森町PA上り線、町道遠州森町PA下り線の道路整備により遠州森町PAにスマートICが開設された。スマートIC開設とアクセス道路の整備により、新東名へのアクセス時間が短縮される地域が増え、通勤時や救急など利用客の利便性及び安全性が向上した。 ・道路事業と一体的に利用促進策を実施することで、町外からの入り込み客の増加を図ることができた。 												
II 定量的指標の達成状況	指標① 通勤時の 時間短縮	最終目標	28分	総合所見	遠州森町PAスマートICを利用することにより、通勤等浜松へのアクセス時間が短縮された。また、浜松側もアクセス道路が整備されたことから目標を上回る、時間短縮効果があった。									
		最終実績値	20分											
	指標② 救急時間短縮	最終目標	40分	総合所見	指標の一宮地区からの第3次医療機関への搬送事例がなく実績値は不明であるが、同様の立地関係にある公立森町病院から聖隷三方原への搬送時間は平均38分で目標の40分は達成できていると判断できる。									
		最終実績値	—											
	指標③ 観光入り込み 客数	最終目標	100万人	総合所見	新東名開通に合わせたその他観光客誘致事業もあり、目標を上回る結果となった。特にアクティー森はスマートIC開通により新東名高速道路からのアクセス性が向上したことで来場者が増加したと考えられる。									
		最終実績値	110万人											
	その他 安全性や走行 性 向上の満足度	最終目標	—	総合所見	住民アンケートにより約6割が遠州森町スマートIC周辺の道路整備によって、安全性や走行性が向上したと感じている。特にスマートIC周辺の一宮地区およびその北側に位置する三倉地区で満足度が高い。									
		最終実績値	58%											
その他 案内標識の 有効性	最終目標	—	総合所見	住民アンケートにより5割以上が案内標識の設置により遠州森町スマートに行きやすくなったと感じている。特に北部の“天方地区”“三倉地区”では、案内標識の設置により遠州森町スマートに行きやすくなったと感じている割合が高い。										
	最終実績値	55%												
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞対策により一宮地区の初詣および紅葉シーズンの渋滞を大幅に減らすことが可能となった。 ・橋梁長寿命化修繕計画の策定により維持管理費のばらつきを抑え、各年の予算を平準化することが可能となった。 												

3. 特記事項(今後の方針等)

29-A5	観光施設等への誘導と合わせ、さらなるわかりやすい案内標識を整備する。
29-C1	更なる渋滞緩和に向け、改善策と試行を繰り返し行い、地域にとって最良の渋滞緩和の方策を導き出していく。町内の回遊性を向上させるために必要な案内標識のあり方、情報提供の在り方について検討する。
29-C2	策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の点検・補修を適切な時期に実施し、橋梁の安全性確保を目指していく。橋梁長寿命化修繕計画の実施により、今後50年間では、従来の対処療法的な管理と比べて約50億円のコスト縮減効果を実現することが可能となる。効率的に橋梁の維持管理を実施していくために、橋梁の定期点検⇒点検結果の蓄積⇒長寿命化修繕計画の修正⇒補修・対策工事の実施⇒補修情報の蓄積というサイクルを構築し、効率的な維持管理を行っていく。

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	新東名遠州森町スマートICを活かした活力あるまちづくり計画		
計画の期間	平成24年度 ~ 平成26年度 (3箇年)	交付団体	森町



事業効果の発現状況

基幹事業(道路事業)

新東名供用に伴い、遠州森町PAにスマートICの設置及び周辺道路整備をすることにより、通勤時や救急における時間短縮及び町外からの観光入り込み客の増加を図りました。



遠州森町スマートIC(下り)

